

# 第6学年1組 外国語科学習指導案

令和4年6月21日(火) 3校時  
男子10名 女子11名 計21名  
指導者 HRT: 山口 亜希  
ALT: Christina Higgins

## 1 単元名 Unit2 How is your school life?

### 2 単元の目標

○世界の子供たちの学校生活を知り、自分達の生活について伝え合う語句や表現を身に付けている。活字体の大文字・小文字を理解し、例を参考に伝えたい文を書き写している。 【知識及び技能】

○世界の子供たちの日常生活を知り、自分達の生活を伝える目的や場面、状況などに応じて学習した語句や表現を選択したり付け加えたりして、伝え合っている。

【思考力・判断力・表現力等】

○他者に配慮しながら、主体的に世界の子供たちの日常生活を知り、自分達の生活について伝え合おうとしている。英語の音に慣れ親しみ、世界や日本についての理解を深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】

### 3 単元について

#### ○単元観

本単元は、日常生活を題材とし、自分の大切なもの(宝物)や日常生活について、尋ねたり答えたりする表現ができるようにする単元である。自分が大切にしているものをわかりやすく伝えたり、友達が大切にしているものを聞いたりする活動を通して、自分のことを知ってもらい喜びや友達のことを知る楽しさを味わい、相手意識を持って積極的にコミュニケーションを図ることができる価値ある単元である。前単元では、自分の出身地、誕生日、できること、得意なこと、将来の夢などについて伝え合う学習を行った。本単元は、前単元での既習事項を踏まえ、自分の思いを自分らしく伝えようとする表現が可能である。6年生とは言え、友達の大切にしているものや日常生活を知るとはさらに友達のことを理解するきっかけとなり、新たな発見があると思われる。また、自分の日常生活をふり返り友達に紹介することは、児童にとって身近なことであり意欲的に取り組むことができると考える。また前学年までの頻度を表す表現や動作を表す表現をくり返し学習することでスパイラルな学習活動が設定でき、自分の英語表現を豊かにすることのできる構成となっている。

#### ○児童観

外国語学習に関する本学級の児童の実態は、下記の通りである。

	とても思う	まあまあ思う	あまり思わない	全く思わない
①外国語の学習は好きですか。	10人	9人	2人	0人
②外国語を話すことは得意ですか。	2人	7人	8人	4人
③外国語は大切だと思いますか。	16人	5人	0人	0人

以上の結果から、本学級の児童は学習に意欲的に取り組むことができ、外国語の学習にも楽しく参加しているが、自分の考えや思いを積極的に表現することに自信がない児童も見られる。今まで、正しく発音したり正確に伝えたりすることが「英語が得意である」と捉えていたため、自分の思いを何とか伝えようとするのが大切だという声かけをして励ましてきた。全体的に見て、少しずつみんなの前で話したり発表したりすることに抵抗がなくなってきたが、中にはまだ発音することに慎重になり、自信を持って活動ができなくなってしまう児童もいる。しかし、外国語は大切であると答えた児童が多いことから、外国語を学ぶ重要性を感じていることがわかる。外国語を話せるようになりたい、相手にわかりやすく伝えられるようになりたい、生活に活かせるようなことをもっと知りたいなど、外国語学習に意欲を持って臨んでいる児童もいる。

## ○指導観

指導に当たっては、まず、日常生活を表すために必要な表現に十分慣れ親しませる。ALTの発音をしっかりと聞かせ、自信をもって発音できるようにする。日常生活に加え、自分の大切にしているもの（宝物）を紹介することで、自分らしい表現が可能になることを伝え、児童が使いたい語句や表現が使えるようにする。本時では、Activityでの、友達への発表活動を通して、話す側、聞く側のポイントを示し目的や状況に応じて自分の思いを伝え合えるように仕組んでいく。前単元までに学習した表現を生かしながら、Small TalkやActivityの中で、さらに会話を豊かにするための英語表現を紹介することで、児童が必要なときに活用できるようにする。単元終末では、ALTや5年生に6年生のことを知ってもらうために「ALTや5年生に、自分達の日常生活を紹介しよう！」という活動を設定することで、よりわかりやすく伝えようとする意識を持つことができ、相手意識や目的意識を持って取り組めると確信する。

## 〔言語活動の設定〕

目的・・・ALTや5年生に自分のことをよく知ってもらうために

場面・・・単元の終末でALTや5年生に自分の日常生活を紹介するという場面を設定することで

状況・・・よりわかりやすく伝え合おうとする相手意識や目的意識を持つことができ

自分の思いを生き生きと伝え合う児童の育成につながると考える。

## 4 取り扱う言語材料

【表現】I live in ~. I go to ~. I usually ~. My treasure is~. など

【語彙】乗り物（busなど）、一日の時間（morningなど）、文房具（notebookなど）、一日の生活（get upなど）、日常生活（ballなど）  
（既習事項も含めて児童が使いたい表現を扱う。）

## 5 単元計画（全8時間） 本時 5 / 8

	目標と主な学習活動	知識・技能	思考・判断 表現	主体的に学習に取り 組む態度
1 ・ 2	世界の子ども達の日常生活などについてのやり取りのおおよその内容を理解する。	○		○
3 ・ 4	日常生活や宝物について伝え合う表現を理解する。	◎	○	
5 ・ 6	自分の日常生活や宝物について、伝え合う。  【本時】		◎	
7 ・ 8	世界の人々の生活について考え、世界と日本の文化に対する理解を深める。			○
	イングリッシュ タイム	自分達の生活や宝物を、5年生に紹介しよう。		

**※単元のゴール・・・Christina先生や5年生に、自分達の日常生活を紹介しよう！**

## 6 本時の学習（5 / 8）

（1）目標

自分の宝物や日常生活について、伝え合う。

【思考・判断・表現】

(2) 本時の視点

友達に自分のことを紹介するという場面を設定し、自分の宝物や日常生活を伝え合う活動を取り入れることで、児童が目的や状況に応じた表現を考え、コミュニケーションをとることができたかを検証する。

(3) 展開

過程分	児童の活動		支援及び指導上の留意点		備考
	学 習 活 動		HRT	ALT	
Warm up ⑩	<p>1 <b>Greeting</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○あいさつをする。 Let's start English.</li> <li>○気分、天気、曜日、日づけ、時刻などを答える。</li> </ul> <p>2 <b>Small Talk</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ペアで、～について話す。</li> <li>・ What time do you usually go to bed?</li> <li>・ I usually go to bed at~.</li> </ul> <p>3 単元のゴールを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一緒にあいさつをする。</li> <li>○リアクションやくり返しの表現を使って会話をつなげさせる</li> <li>○単元の終末で、ALTや5年生に自分達の日常生活や宝物などを紹介することを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○あいさつをしたり、気分、天気、曜日、日付、時刻などをたずねたりする。</li> <li>○ジェスチャーを交えてゆっくり話す。</li> <li>○デモンストレーションをする。</li> <li>○ペアで会話が進まない児童と一緒に発音する。</li> </ul>	文カード	
Main act 1 ⑤	<p>4 <b>Today's goal</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の課題をつかむ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;">                     自分の宝物や日常生活を、わかりやすく伝え合おう。                 </div> <p>5 <b>Practice</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ What is your treasure?</li> <li>・ My treasure is~. の練習をする。</li> </ul> <p>6 <b>Activity ①</b> &lt; Interview game &gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ある先生の「自己紹介カード」を紹介し、課題につなげる。</li> <li>○宝物を紹介する時に必要な表現を確認する。</li> <li>○デモンストレーションをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発音を担当する。</li> <li>○デモンストレーションをする。</li> </ul>	自己紹介カード	
Main act 2 ⑫	<p style="text-align: center;">★ POINT ・ ・ eye contact clear voice reaction</p> <p>A: Hello! B: Hello! A: What is your treasure? B: My treasure is ~. A: (Wow! Really? I see. Me, too. など) B: What is your treasure? A: My treasure is ~. B: (Wow! Really? I see. Me, too. など) A: Thank you! B: Bye. など</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>① インタビューシートに記入しながら活動させる。</li> <li>② 学級の友達にインタビューをしたら1ポイント、四小の先生方にインタビューしたら2ポイント、四小の先生以外にインタビューしたら3ポイント。</li> <li>③ 最後に校長先生にラッキーカードを引いていただき、その人にインタビューしていたらボーナスポイント(5ポイント)を加える。</li> </ul>	インタビューカード	

	<p>7 Activity ②          &lt; Presentation &gt;          ○グループで順番に発表する。</p>	<p>○ポイントを意識して活動している児童を紹介する。</p> <p>○発表する側と聞く側の視点を示し、発表の後には何らかの反応を示させる。</p>	<p>○一緒にゲームに入っ発音する。</p> <p>○グループを回り一緒に発音したり、賞賛したりする。</p>	自己紹介カード												
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="304 443 619 479">★ POINT ・ ・ 発表者</th> <th data-bbox="304 479 619 492">clear voice</th> <th data-bbox="304 492 619 506">gesture</th> <th data-bbox="304 506 619 519">／</th> <th data-bbox="304 519 619 533">聞く人</th> <th data-bbox="304 533 619 546">reaction</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="304 479 619 701">           Hello!            I live in~.            I usually~ on ~.            My treasure is~.            Thank you!         </td> <td data-bbox="304 479 619 492"></td> <td data-bbox="304 492 619 506">           ①あいさつ            ②住んでいる町            ③自分の生活            ④自分の宝物など            ※自分が伝えたいことを発表する。         </td> <td data-bbox="304 506 619 519"></td> <td data-bbox="304 519 619 533"></td> <td data-bbox="304 533 619 546"></td> </tr> </tbody> </table>		★ POINT ・ ・ 発表者	clear voice		gesture	／	聞く人	reaction	Hello! I live in~. I usually~ on ~. My treasure is~. Thank you!		①あいさつ ②住んでいる町 ③自分の生活 ④自分の宝物など ※自分が伝えたいことを発表する。				<p>○ポイントを意識して活動している児童を紹介する。</p>	
★ POINT ・ ・ 発表者	clear voice	gesture	／	聞く人	reaction											
Hello! I live in~. I usually~ on ~. My treasure is~. Thank you!		①あいさつ ②住んでいる町 ③自分の生活 ④自分の宝物など ※自分が伝えたいことを発表する。														
Looking back	<p>8 Writing          ○本時で学習した英文を書き写す。</p> <p>9 Looking back          ⑩ ○本時の振り返りをする。</p> <p>10 Good-bye          ○終わりのあいさつをする。          ・ Let's finish.          ・ See you next week.</p>	<p>○ていねいに書き写している児童を賞賛したり、書くことに戸惑っている児童の支援をしたりする。</p> <p>○わかったことや新しく知ったことなどを発表させる。</p> <p>○次時は、ALT に日常生活や宝物を紹介することを伝える。</p>	<p>○ていねいに書き写している児童を賞賛したり、書くことに戸惑っている児童の支援をしたりする。</p> <p>○本時での児童の頑張りを賞賛する。</p>	ワークシート												

(4) 評価

グループの友達に自分のことを紹介するという場面を設定し、自分の宝物や日常生活を伝え合う活動を取り入れることで、児童が目的や状況に応じた表現を考え、コミュニケーションをとることができたかを、行動観察・自己評価カード点検で評価する。

【思考・判断・表現】

(5) 板書計画)

<b>単元のゴール</b> ・ ・ Christina先生や5年生に、6年生の生活や宝物を 紹介しよう。	
Today's goal	自分の宝物や日常生活を、わかりやすく伝え合おう。
<b>&lt; Small Talk &gt;</b>	<b>&lt; Activity &gt;</b>
A: What do you usually go to bed? B: I usually go to bed at~. A: 反応 B: What do you usually go to bed? A: I usually go to bed at~. B: 反応 A・B: Thank you!	★自分の日常生活や、 宝物の紹介に必要な 表現。  ★ Activity ①②のルー ルやポイント  ★リアクションの種類 など
	○○先生の紹介 <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>